

## 目標達成計画

作成日:平成 27 年 2 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。ち

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議は同敷地内施設の会議室で開催されており、入居者の日常の様子を間近に確認する機会は少ないと思われる。今後は会議の前後などにホームに足を運んでもらうことで、入居者の近況報告がより身近になり、活発な意見交換に繋がると思われる。	充実した運営推進会議の開催 (地域の方々及び行政の方や入居者のご家族への参加を呼びかけ当ホームの運営を広い見地から見る)	運営推進会議の時、地域の方(保育園の園長先生、消防団)や、公共の職員(役場、包括センター、派出所、消防署)等による講義や、ホームの生活の様子を实际みていただく。また、入居者のご家族への参加も呼びかけ意見交換の場として活用する。	平成27年4月～ 平成28年3月
2	10	家族はホームの行事、新入居者、退去者などの情報を教えてほしいと思っている。	広報誌「ぽっぽ通信」の発行を再開し、家族へ早めに行事案内やその他に情報を発信することで家族とホームの信頼関係に繋がっていく。	「ぽっぽ通信」の再発行を行い、受診、行事予定、誕生会、自主メニュー日、日々の状況(新入居者の紹介、新職員の挨拶)等、御家族の知りたい情報を発信する。	平成27年4月～ 平成28年3月
3	2	「みんなの家の子供達」(託児所)との交流はあるものの、こちらから出向いて行く事がない。	「みんなの家の子供達」を訪問し、共に交流の場とし、入居者の精神活性化を図る。	園長先生と訪問日を相談しながら、入居者の手作りの雑巾などをお土産として持参し、昔ながらの手遊びや、歌、子どもたちの様子など見学する。	平成27年4月～ 平成28年3月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。